

木村莊十一年 著『映画監督』。明治二十八年九月四日東京生れ。昭和六
十二年八月十日歿（一九三二—六）。畫家木村莊八、作家木村莊十の弟。

長兄木村艸太等の影響で大正八年武者小路實篤の新しき村に参加。十

二年映画界に入り、『百姓萬歳』を初監督。昭和七年獨りプロを興し、

翌年プロ（のち東寶）を提携。十二年滿洲映画協會（轉）、戦後新

中國の文化工作に従事。二十八年歸國後日本共產黨に入黨。

著書『映画演出學讀本』（合著、昭和十五年十二月一日大日本映画協

會編輯）『日本映画叢書』（『新中国』（昭和二十八年七月）白泉峰

書房）等。

